

図書館だより 1月



ワシントン日本語学校図書館 (tosho@wjls.org) 令和7年 1月号
開館時間 8時50分～16時

あけましておめでとうございます

新しい1年がはじまりました。みなさんは冬休みをどのように過ごしましたか。「一年の計は元旦にあり」といいますが、今年どんな計画、目標をたてましたか？今年もたくさんの本と出会い、発見したり、感動したり考えたりと心ゆたかに過ごしたいですね。

2025年の干支は「巳（へび）」です。日本の十二支は「子(ねずみ)・丑(うし)・寅(とら)・卯(うさぎ)・辰(りゅう)・巳(へび)・午(うま)・未(ひつじ)・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(いのしし)」ですが、ほかの国では「猫」や「豚」などちがう動物になっているところもあります。図書館にある「十二支のはじまり」には、干支のはじまりや順番、なぜ猫が入っていないのかも書かれています。ぜひ読んでみてください。

人気シリーズ貸出のご案内

「サバイバル/タイムワープ」「発明/実験対決」「漫画」については、生徒それぞれ1人1冊まで借りることができます。放課後対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。限られた本をより多くの生徒に利用してもらいたいため、皆様のご協力をお願いいたします。

私物図書をお預りしています

図書館では間違って返却された個人の本、他の図書館で借りられた本をお預かりしています。お心当たりのある方は、職員に声をおかけください。

★図書館で1ヶ月保存し、お問い合わせがない場合は寄贈扱いとさせていただきます。

12月人気ランキング

予約された本

- 1 最強王シリーズ
- 2 変な絵 / 雨穴
変な家 2 / 雨穴
- 3 おしごとそうだんセンター / ヨシタケシンスケ
難問の多い料理店 / 結城真一郎

作家

- 1 汐見夏衛さん
- 2 東野圭吾さん
- 3 青山美智子さん

絵本シリーズ

- 1 「いちにち」シリーズ
- 2 「ノラネコぐんだん」シリーズ
- 3 「おすしがふくをかいにきた」シリーズ

12月の貸出状況

貸出利用者

生徒	692人
保護者	326人
貸出冊数	3,476冊

冬休み前に
借りた本は
4日にすべて
忘れずに返却して
ください。



今月の 特集



「おしりたんてい」 トロル

「フーム、においますね」見た目も、推理もエグセレント！涼しい顔して真実に迫る、あたらしい名探偵の登場です。こんどの依頼は、おかしなおかしの事件。さっそく現場にかけつけるおしりたんていの前にかさなりあう謎の数々。いったい犯人はだれ？おしりたんていといしよに、お話を読み進めながら、めいろや絵探しをして真実にせまる謎解き絵本。

「マインクラフト ゲームにとびこめ！」

ニック・エリオポラス（技術評論社）
ゲームの世界が現実…せまってくる危険はマジでやばい！マインクラフトが大すきな4人には秘密があったー変わり者の理科の先生がつくったVRゴーグルをつけると、マインクラフトの世界にとびこめるのだ！ところが、どこまでがゲームでどこからが現実かがだんだんとわからなくなっていく。そんな4人を救えるのは、あの転校生の女の子だけ。

「鬼滅の刃 無限城突入！しのぶの想い編」 吾峠呼世晴（みらい文庫）

鬼になった妹・禰豆子を救い、家族の仇討ちをするために鬼殺隊に入った炭治郎。鬼殺隊では、隊士の訓練や柱のアザの発現を目的とした“柱稽古”が始まるが、鬼殺隊当主・産屋敷耀哉の前に、鬼舞辻無惨が現れて…！？ノベライズ第6弾。

「ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人」 東野圭吾（光文社）

故郷で父が殺害された。仕事と結婚準備を抱えたまま生家に戻った真世は、何年間も音信不通だった叔父・武史と再会する。元マジシャンの武史は警察を頼らず、自らの手で犯人を見つけるという。かつて教師だった父を殺した犯人は、教え子である真世の同級生の中にいるのか。コロナ禍に苦しむ町を舞台に、新たなヒーロー“黒い魔術師”が手品のように華麗に謎を解く長編ミステリー！

「近畿地方のある場所について」 背筋（KADOKAWA）

この本に収録されている様々な形式の文章は、オカルト雑誌に掲載する特集のために、ライターの私と、編集者で友人でもある小沢くんの手によって収集されたものです。それらは、近畿地方の「ある場所」に関連した文章です。私たちは、「ある場所」に潜む怪異の存在に気づきました。そして、調べを進める中で小沢くんが消息を絶ててしまいました。私は彼を捜しています。どうか皆さんこの本をお読みいただき、情報をお持ちの方はご連絡ください。



「リロ アンド スティッチ」 キキ・ソーブ（偕成社）

両親を失ったさびしがりやの少女“リロ”のもとに、宇宙から、逃亡者のエイリアン“スティッチ”がやってきます。でも、スティッチをねらう、あやしいふたつの影が…。ディズニーが贈る、愛と感動の冒険ファンタジー。



「ズートピア」 スーザン・フランシス（偕成社）

ズートピアは、すべての動物たちが仲よく平和に暮らし、だれもが夢をかなえられる大都会。ジュディも、子どものころの夢をかなえて、ウサギ初の警察官になりました。はりきるジュディでしたが、さっそく署長からクビを言いわたされてしまいます。クビにならないためには、行方不明事件を解決しなければなりません。手がかりを知っているキツネの詐欺師・ニックとともに捜査をはじめたジュディでしたがー。



「秒速5センチメートル」 新海誠（角川文庫）

「桜の花びらの落ちるスピードだよ。秒速5センチメートル」いつも大切なことを教えてくれた明里、そんな彼女を守ろうとした貴樹。小学校で出会った2人は中学で離ればなれになり、それぞれの恋心と魂は彷徨を続けていく。劇場アニメーション『秒速5センチメートル』では語られなかった彼らの心象風景を、新海誠監督みずから繊細な筆致で小説化。



「宝島」 真藤順丈（講談社）

英雄を失った島に、新たな魂が立ち上がる。固い絆で結ばれた三人の幼馴染み、グスク、レイ、ヤマコ。生きるとは走ることに抗うこと、そして想い続けることだった。少年少女は警官になり、教師になり、テロリストになりー同じ夢に向かった。超弩級の才能が放つ、青春革命の一大叙事詩！第9回山田風太郎賞、60回直木賞受賞、第5回沖縄書店大賞受賞



「水車館の殺人」 綾辻行人（講談社文庫）

仮面の当主と孤独な美少女が住まう異形の館、水車館。一年前の嵐の夜を悪夢に変えた不可解な惨劇が、今年も繰り返されるのか？密室から消失した男の謎、そして幻想画家・藤沼一成の遺作「幻影群像」を巡る恐るべき秘密とは…！？本格ミステリの復権を高らかに謳った「館」シリーズ第二弾。

（内片輝監督）どの「館」シリーズが実写化されるのか？それはまだ内緒。楽しみにお待ちください。



「少年と犬」 馳星周（文藝春秋）

2011年秋、仙台。震災で職を失った和正は、認知症の母とその母を介護する姉の生活を支えようと、犯罪まがいの仕事をしていた。ある日、和正は、コンビニで、ガリガリに痩せた野良犬を拾う。多聞という名らしいその犬は賢く、和正はすぐに魅了された。その後、和正はさらにギャラのいい窃盗団の運転手役の仕事に依頼され、金のために引き受けることに。そして多聞を同行させると仕事はうまくいき、多聞は和正の「守り神」になった。だが、多聞はいつもなぜか南の方角に顔を向けていた。多聞は何を求め、どこに行こうとしているのか……犬を愛する人に贈る感涙作。第163回直木賞受賞作。

